

平成30年 4月25日

名古屋教育医療記者会 各位

名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班
代表 酒々井真澄 学生代表 畑中景
電話 052(853)8991

名古屋市立大学事務局学生課
課長 三宅正嗣 電話 052(872)5041

(名古屋経済記者クラブ・名古屋市政記者クラブと同時発表)

学生の手で山岳診療を
ささえる!

「名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班」今夏も1か月間活動!
教育講演会『山岳気象』 5/18(金) 開催のご案内



蝶ヶ岳ヒュッテ前にて



雲上セミナーの様子

「名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班」では、約100名の学生部員と約60名の本学の医療関係者や卒業生たちが活動しています。診療所は、北アルプスの蝶ヶ岳山頂付近にある「蝶ヶ岳ヒュッテ」(山小屋)内にあり、現在、学生が医療スタッフの助言を受けながら開所準備を進めています。この活動は、今年度で21年目となるボランティア医療活動という社会貢献の取り組みに対して、平成28年には北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会から感謝状をいただきました。また、高地医学、遠隔地医療および環境保全に関する研究と教育の場となっています。

今年度の活動に先駆け「教育講演会」を下記のとおり開催します。山岳気象をテーマとして、登山に興味のある方、山の気象に興味のある方など、どなたもご参加いただけます。広く市民の皆さまにご案内させていただくと共に、取材をご検討いただけますようよろしくお願いいたします。

記

- 1 日時 平成30年5月18日(金) 17:00~19:00(受付16:30~)
- 2 場所 名古屋市立大学病院3階 大ホール
- 3 対象者 登山に興味のある方、山の気象に興味のある方など
- 4 内容 「山岳気象」
山岳気象を理解することにより、登山者のリスクを軽減することが可能です。「世界の果てまでイッテQ」の登山隊などをサポートしている猪熊氏が解説します。
(株式会社ヤマテン代表取締役 山岳気象予報士 猪熊隆之氏)
- 5 参加費 無料(事前申し込み不要。直接会場にお越しください。)
- 6 URL <http://chogatake.umin.jp/>

山岳気象講演会

蝶ヶ岳ボランティア診療班 教育講演会
「山岳気象」

2018年5月18日(金)

17:00 ~ 19:00 (受付 16:30~)

場所：名古屋市立大学病院3階 大ホール

演者：猪熊隆之氏 聴講料：無料



〈講演内容〉

登山中の突然の雷雨や強雨、さらに積乱雲の発達によるダウンバーストなど、命にもかかわるような気象状況に突然襲われることも増えてきました。こうした中で、事前にこうした気象状況を引き起こす、発達した積乱雲が接近したり、積乱雲が発達する状況を予測することで、リスクを減らすことが可能です。山岳気象予報士である猪熊隆之氏に解説していただきます。

【プロフィール】

1970年生まれ。気象予報士。株式会社ヤマテン代表取締役。中央大学山岳部監督。国立登山研修所専門調査委員及び講師。カシオ「プロトレック」開発アドバイザー。チョムカンリ(チベット)、エベレスト西稜、剣岳北方稜線全山縦走などの登攀歴がある。日本テレビ「世界の果てまでイッテQ」の登山隊やNHK「グレートサミッツ」、東映「草原の椅子」など国内外の撮影をサポートしているほか、山岳交通機関、スキー場、旅行会社、山小屋などに配信し、圧倒的な信頼を得ている。



◆主催：蝶ヶ岳ボランティア診療班

北アルプスの蝶ヶ岳山頂にて、寄付により無償の診療所を運営しております。診療活動にご協力頂ける医療スタッフを募集しています。(応募要項は掲載済みの別紙をご参照ください。)



担当：蝶ヶ岳ボランティア診療班 学生代表
名古屋市立大学医学部3年 畑中景
(Email : kei.htnk.0769@gmail.com)



《今年度の蝶ヶ岳ボランティア診療班の活動》

- 1 山岳気象講演会** (5月18日(金)午後5時、名古屋市立大学病院3階大ホール)
天気予報士であり登山家でもある猪熊隆之氏(株式会社ヤマテン代表取締役)に毎年来学
いただいております今年も山岳気象に関する講演会を行います。
- 2 日本登山医学会** (6月2日(土)～3日(日)、日本女子体育大学、東京都)
次の演題で研究成果を発表します。
「蝶ヶ岳での登山中の水分摂取量(ml/kg/h)と急性高山病発症との関連」
酒々井眞澄^{1),2)}、佐々木貴久¹⁾、松本晴年^{1),3)}、坪井 謙^{1),2)}、薊 隆文^{1),4)}
1) 名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班、2) 名古屋市立大学大学院医学研究科、
3) 名古屋市立大学医学部附属病院薬剤部、4) 名古屋市立大学看護学部
- 3 壮行会** (6月16日(土)午後3時、桜山キャンパス本部棟4Fホール)
診療活動の決起会として壮行会を行います。当日の壮行会前に行われる講演会では4月より
至学館大学に着任された三浦裕教授にご講演していただきます。
- 4 診療所の開所期間** (7月16日(月)～8月19日(日))
学生が交代で蝶ヶ岳ヒュッテに宿泊して医師の診療活動をサポートします。例えば、問診
や診察の補助、薬剤やガーゼなどの管理と補充を行います。学生は診療所内に24時間待機
し早朝や夜間でも患者さんを受け入れる体制を整えています。診療所の周知や体調不良者
の早期発見を目的として登山者に対して声かけ活動も行っています。

～雲上セミナー～

学生や医療スタッフが講師となりヒュッテ内でのセミナーを、開所期間中ほぼ毎日
食堂で午後7時から1時間、「高山病の予防対策」「外傷の対処法」「星の見方」など
の話題で安全登山の啓発に努め、登山者との交流を図っています。また、その後には血
圧や血液中の酸素飽和度測定を行います。

毎年40講座以上行っている雲上セミナーの様子を、2018年から「知の市場」のウエ
ブサイト (<http://chinoichiba.org/index.html>) で紹介し全国に周知しています。ま
た、雲上セミナーの実施予定や内容については診療班のホームページで7月中旬頃から
公開予定です。

5 勉強会(通年)

私たちは診療所で必須な技能と知識をつけることを目的とした勉強会を毎週行っていま
す。勉強会のテーマは「患者さんの話を聞く医療面接」「体温、血圧、脈拍の測定方法」
のような手技的なものから、「高山病の症状と予防法」「薬の使い方」などの専門知識に
関する内容まで幅広く設定されています。これは学生により企画運営され皆熱心に取り組
んでいます。

壮行会講演会

蝶ヶ岳ボランティア診療班 公開講演会

どなたでも参加できます。
参加に事前連絡は不要です。
たくさんのご参加お待ちしております。

「山岳診療所開設の意義」

2018年6月16日(土) 14:00～15:00(受付13:30～)

場所:名古屋市立大学本部棟4階ホール

講師:三浦裕 教授 聴講料:無料

1986年 名古屋市立大学医学部医学科卒 小児科医
1988年 北海道大学理学部大学院理学研究科
1991年 カナダ国カルガリー大学医学部生化学ポストドクトラルフェロー
1996年 名古屋市立大学医学部細菌学助手
1998年 名古屋市立大学医学部附属分子医学研究所生体制御部門助手
蝶ヶ岳ボランティア診療所開設
2000年 名古屋市立大学医学部医学研究科分子神経生物学分野准教授
2017年 診療所20周年
2018年 至学館大学教授



〈詳細〉

蝶ヶ岳ボランティア診療所の開設者である三浦先生は、これまで診療所の運営に携わっておられました。

国際認定山岳医としての豊富な経験をもとに、山岳診療についてお話しして頂きます。

◆主催:蝶ヶ岳ボランティア診療班

北アルプスの蝶ヶ岳山頂にて、寄付により無償の診療所を運営しております。

診療活動にご協力頂ける医療スタッフを募集しています。

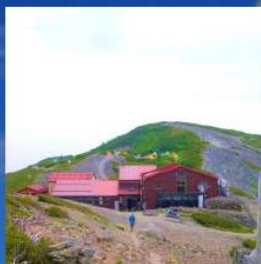
講演会后、壮行会を予定していますので、ご参加される方は当日学生にお声をかけて頂くか下記までご連絡ください。



担当:蝶ヶ岳ボランティア診療班 学生代表
名古屋市立大学 医学部3年 畑中景
(Email : kei.htnk.0769@gmail.com)



蝶ヶ岳 2018 医療スタッフ募集



私たち**名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班**は、長野県北アルプス蝶ヶ岳にて山岳診療所を開設しています。山頂からは槍穂高連峰の展望が楽しめ、麓から昇るご来光、満天の星空、雷鳥や高山植物などには心を奪われます。スタッフは山小屋に寝泊まりし、ヒュッテの食事や学生の手料理を食べることができます。



麓の安曇野までは名古屋から車で約3時間です。登山時間は片道6時間ほどです。登山に心配な方はお気軽にご相談ください。



診療所には高山病、外傷、虫刺症などの患者さんが期間中約120～200名受診されます。医・看護・薬学部の学生が医療スタッフをサポートいたします。診療所に医療スタッフが常駐することで登山者の健康管理と安心・安全な登山に大きく貢献しています。

医療スタッフが行うことの例

診察、投薬、高山病予防指導、点滴、酸素投与、外傷処置、テーピング、医療相談、雲上セミナー、重症者発生の場合にはヘリコプター搬送判断など

6/16
壮行会

2018年の募集期間は**7/16(月)～8/19(日)**です。

壮行会を**6/16(土)**午後より本学にて開催します。

診療班への初めての参加希望者は、原則診療班員(過去の参加者、OB/OGなど)の推薦を必要とします。

お問い合わせは年間を通して下記のアドレスまでご連絡ください。

chogatake-staff@umin.ac.jp 皆様のご参加を心よりお待ちしております。



診療班代表
酒々井眞澄

学生担当者
井上右喬 石谷知子

蝶ヶ岳診療班



<http://chogatake.umin.jp>

chogatake-staff@umin.ac.jp



登山医学会抄録

蝶ヶ岳での登山中の水分摂取量 (ml/kg/h) と急性高山病発症との関連

○酒々井眞澄^{1),2)}、佐々木貴久¹⁾、松本晴年^{1),3)}、坪井 謙^{1),2)}、薊 隆文^{1),4)}

1) 名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班、2) 名古屋市立大学大学院医学研究科、3) 名古屋市立大学医学部附属病院薬剤部、4) 名古屋市立大学看護学部

【背景と目的】

我々は名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療所を受診した登山者のうち 1,064 名を対象に登山中の水分摂取量と急性高山病 (AMS) 発症との関連を解析した結果、水分摂取量が 1,100 mL より多いと AMS 発症率が有意に少ないことを明らかにした (登山医学, 37: 144-149, 2017)。本研究では、水分摂取量の算出について縦走・非縦走の影響、各人の体重および登山時間での標準化、症例数を増やすことにより統計学的により詳細な解析をめざした。具体的には、カイ 2 乗検定により AMS 発症と水分摂取量との関連を解析した。

【対象と方法】

2008～2017 年に当該診療所を受診した登山者 1,515 名を対象とした。診療録より、AMS と非 AMS の患者数、縦走・非縦走登山者数、登山時間・体重および各患者の水分摂取量などの情報を抽出した。解析に必要な情報がそろった患者のデータを用いて解析した。ROC 曲線にて AMS 発症に関わる水分摂取量の cut-off 値を算出し、この値を基にカイ 2 乗検定を行うことで AMS 発症と水分摂取量との関連を解析した。

【結果と考察】

縦走登山者 (n=292) での ROC 曲線から水分摂取量 (mL/kg/h) の cut-off 値は、1.86 であることが分かった。水分摂取量 1.86 以上での AMS 患者数は 52 名、非 AMS 患者数は 149 名、水分摂取量 1.86 未満での AMS 患者数は 39 名、非 AMS 患者数は 52 名であった。カイ 2 乗検定の結果、水分摂取量が 1.86 より多いと AMS 発症が有意に少ないことが分かった ($P=0.00432$)。非縦走登山者 (n=533) での ROC 曲線から水分摂取量 (mL/kg/h) の cut-off 値は、2.76 であることが分かった。水分摂取量 2.76 以上での AMS 患者数は 87 名、非 AMS 患者数は 173 名、水分摂取量 2.76 未満での AMS 患者数は 119 名、非 AMS 患者数は 154 名であった。カイ 2 乗検定の結果、水分摂取量が 2.76 より多いと AMS 発症が有意に少ないことが分かった ($P=0.0206$)。

これらの結果から、本研究の対象データでは AMS の発症には体重・登山時間で標準化した水分摂取量に関連している可能性がある。今回の解析では解析に必要な情報がそろった患者のデータが限られていることから今後は体重・登山時間の正確な把握に努め、症例数を蓄積することで頭痛と水分摂取量との関連をより正確に調べたい。